

看護こうち

No.109 2010年10月22日

●発行所：(社)高知県看護協会 高知市朝倉己825-5 TEL 088-844-0678 FAX 088-844-0053

URL <http://www.i-kochi.or.jp/hp/jnastosa/> Eメール jnastosa@i-kochi.or.jp

●発行責任者：中村ささみ ●印刷：西富膳写堂

会員数 5,570名

(加入率：42.6%)

保健師 137名

助産師 135名

看護師 4,742名

准看護師 556名

(2010年9月30日現在)



2010.10.7 越知町 宮の前公園にて撮影

おもな記事

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| ● 専門・認定看護師抱負 …………… 2 | ● 職場紹介 …………… 6 |
| ● ふれあい看護体験の報告 …………… 3 | ● 事務局だより …………… 7 |
| ● 新人離職防止研修会 …………… 3 | ● 理事会報告 …………… 7 |
| ● 特集 働き続けられる労働条件・環境づくり支援事業② …… 4 | ● 災害支援ナース募集 …………… 8 |
| ● 働きつけられる職場づくりにむけての取り組み …………… 5 | ● 研修のご案内 …………… 8 |
| ● 平成22年度 日本看護協会会長表彰受賞 …………… 5 | ● 編集後記 …………… 8 |

専門・認定看護師抱負

今年認定看護師に合格された3名の方に抱負を寄せていただきました。

糖尿病看護、脳卒中リハビリテーション看護の分野では、今回高知県で初めての合格者となりました。おめでとうございます。



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
高知赤十字病院 谷本 早苗

脳卒中患者は障害により変化した心身の建て直しや生活再建への取り組み、障害と共にある自分として新しい経験をしながら、たゆみないチャレンジを続けています。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の役割は、患者さんとその家族に寄り添い、思いを尊重しながら患者のもつ可能性を信じて引き出し生活の再構築に向けて協働パートナーとして存在することです。

そのためには、発症直後から重篤化を回避し、合併症を起こすことなく全身状態を整え、動きやすい体をつくり、心身ともに安定した状態で過ごしていただくことが大切です。

患者さん自身が人生において大切にしたいこと、達成したいことをイメージできて、やる気を持ち過ごしていただけるよう「心を動かし、体を動かし、チームを動かす」ことをめざして活躍していきたいと思えます。



糖尿病看護認定看護師
高知赤十字病院 尾崎みづほ



新人の頃には糖尿病患者さんに苦手意識がありましたが、次第に、その人自身の力が発揮できるように、そしてその人らしい人生を送りながら、病気とつき合っていくように関わる糖尿病看護に興味を持ち、もっと深く学び、自信をつけたいという思いでこの道に進むことを決めました。そして多くの方の応援のもと、認定看護師になることができました。糖尿病看護認定看護師は日本に248名、四国に7名、高知県では1人目となりました。

糖尿病看護認定看護師には熟練した知識・技術を用いて糖尿病患者さんを支援する実践に加え、さらなる糖尿病看護の質の向上を目指し指導・相談活動を展開するという役割があります。当院には医師とコメディカルによる糖尿病ワーキング活動があり、チーム医療を展開しています。糖尿病看護認定看護師として、ワーキングの素敵なメンバーとともに糖尿病チーム医療の充実、院内・院外の糖尿病ケアの質の向上に尽力していきたいと思えます。よろしくお願い致します。



認定看護管理者
医療法人精華園海辺の杜ホスピタル 看護部長 竹林 高子

この度の認定は、偏に看護協会における研修等での皆様のサポート、及び職場や家族の支えあっての取得であったと、この場をおかりして感謝申し上げます。

当院は精神科単科病院であり、様々な医療改革の只中で奮闘しています。今、こうした困難を極める状況であるからこそ、確固たる信念に加え、正しい看護管理の理論・技術を枠組みとして活用していくことは、冷静に挑戦する糧となります。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

ふれあい看護体験の報告

今年は、37校から474名と社会人4名の申込みがありました。受入れ施設は48施設で、うち14施設が2日間受入れていただきました。

受入れ施設のご協力のもと、478名の希望者が全員体験できることになりましたが、体調不良や学校行事のため体験中止の申し出が28名と無断欠席が7名もあって大変ご迷惑をおかけしました。

体験した生徒さんは、人との関わりの中でコミュニケーションの難しさや大切さを実感したり、患者さんの『ありがとう』に感激したり...と感想文の中に自分の思いを沢山書いてくれました。それをまとめた体験集は後日施設にお届けいたします。

看護職を目指す生徒さんたちは、体験することで「やっぱり看護師になりたい」との思いを強くしたようです。ひとりでも多くの生徒さんが看護職を目指してくれることを期待しています。来年も受入れをよろしく願いいたします。



本年度の新人離職防止研修会が終了しました

5月22日新人対象とした研修からスタートし、9月11日の新人を指導する方または管理者対象の研修会を最後に、本年度の研修会を終了しました。参加者数は、新人、延べ297人、指導者及び管理者は、延べ166人でした。

新人を対象とした研修会では医療安全・感染・薬など新人が必要とする基礎知識の研修、そして、注射や点滴、救急の対応など、演習を交えての研修会でした。

新人を指導する方または管理者対象の研修会では、プリセプターとして注射の指導をしていただくと同時に、改めて機材の取り扱いや、注意事項を研修、その他の講義ではプリセプターとして看護管理者として現在の新人にどのように接していくかなど、研修の中で学べる内容でした。

この一連の研修会をともし仲間ができたことや、相談できるプリセプターがいることの確認、また心に残る講師の言葉などこれら多くのことを糧に、これからも看護職を続けられることを期待します。



特集 働き続けられる労働条件・環境づくり支援事業②

「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップin 高知」を開催して

WLB地域推進支援者 宮井 千恵

日本看護協会は、平成19年度～21年度まで3年間取り組んできた『看護職確保定着促進事業』を、22年度から「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」という形で引き継ぎ、“看護職の働き続けられる職場づくり”のための活動を全国的に展開することを活動の大きな柱としています。

具体的には、各都道府県が取り組むことにより、22年度から3年間で全国に波及させていこうとするものです。

高知県看護協会は、いち早く22年度初年度に手をあげWLB推進委

員会も立上げ検討を進めてきました。今年は、医療法人精華園海辺の杜ホスピタル、医療法人尚賢会高知高須病院、医療法人聖真会渭南病院、医療法人川村会くぼかわ病院の4施設からご参加をいただき、9

月2日(木)～3日(金)の2日間、「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップin 高知」を高知県看護協会において開催

しました。1日目の午前は「WLBの基本的な考え方」、「WLB施策の導入事例」、「看護職のWLBインデックス調査(WLBNI)および調査結果の見方」、「WLBの実現のためのアクション・プラン」に

ついての講義、午後からは個別ワーク、2日目の午前は個別ワーク、午後各施設の発表、討議、意見交換のスケジュール

で開催しました。各施設からは看護部長はじめ人事担当事務職員の方々など2～4名のご参加をいただきました。

日本看護協会から久々宇悦子氏・小村由香氏、WLB普及推進プロジェクトから学習院大学経済学部教授脇坂明氏、財団法人三友堂病院人事企画部部長田林義則氏をお迎えし、講義及びワークショップのファシリテーターを努めて下さいました。

各施設とも約5時間のワークショップを通して課題が明確になり、4ヶ月後、1年後、3年後のアクション・プランを立てることができました。2日目午後には各施設の責任者の方々から、自信に満ちた発表と活発な意見交換が行われました。

今回参加された4施設は、本当に勇気のある施設であったと思います。今後の取組みは大変とは思いますが何事も始めなければ結果は出ません。まずは組織の職員の皆さんにこのことを周知し、協力を得ながらPDCAサイクルを繰り返し、成果を出されることを期待しています。高知県看護協会としても本取組みにご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。

来年も、あらたに取組みを開始される施設が出て下さることを願っています。

来年も、あらたに取組みを開始される施設が出て下さることを願っています。

来年も、あらたに取組みを開始される施設が出て下さることを願っています。

来年も、あらたに取組みを開始される施設が出て下さることを願っています。

来年も、あらたに取組みを開始される施設が出て下さることを願っています。

来年も、あらたに取組みを開始される施設が出て下さることを願っています。

来年も、あらたに取組みを開始される施設が出て下さることを願っています。

来年も、あらたに取組みを開始される施設が出て下さることを願っています。

来年も、あらたに取組みを開始される施設が出て下さることを願っています。



働きつづけられる職場づくりにむけての取り組み

高知県では平成19年度から子育てしやすい職場づくりに積極的に取り組む企業を認証し、その取り組みを支援する制度が始まっています。

仕事と家庭を両立させて働きつづけられるように、独自の取り組みを行い、子育てにやさしい労働環境の実現を目指す職場のひとつとして今回細木病院の「こども参観日」というユニークな取り組みを紹介させていただきます。

こども参観日

細木病院 副看護部長 松澤 富子

細木病院では、1年に1回職員に呼びかけて「こども参観」を開催しています。

今年は、2月に開催し職員の小中学生のこどもさんとそのお友達の合計7名が参加してくれました。参観内容は、各施設で開催される行事等に合わせて開催（半日） 保護者の職場を中心に施設見学行う（半日）で、同じ仁生会グループのユニティ病院・三愛病院も毎年行っています。

こども参観は、親の職場を訪問して一緒に働く職員や仕事の様子を見学することで、家庭とは違う親の側面を垣間見ることができます。働く姿を見せることで尊敬や感謝の思いを懐いたり、また、自分の将来の目標に繋がります。

参加するこどもさんの緊張した顔、働く親の姿を見つけた時のうれしそうなおもしろい顔、親子の繋がりを感ずきます。そして、親子の関係性も深まると確信しています。

今回は一緒に参加したお友達も看護師への興味を深めたようでした。これからも小規模ではありますが続けていきたいと思っています。



平成22年度 日本看護協会会長表彰受賞 おめでとうございます



H22年6月8日、日本看護協会通常総会に於いて高知県看護協会常任理事、橋田勝子氏が会長表彰を受賞されました。



職 場 紹 介

今回、独立行政法人国立病院機構高知病院での新たな取り組みとして、助産師による妊婦健診について紹介します。

副看護師長 佐藤 愛美

❖❖❖❖❖❖❖❖❖ 「院内助産 ほほえみ」開設 ❖❖❖❖❖❖❖❖❖

昨年の当院の分娩件数は699件でした。これは高知県全体の出産の約10%、高知市では約20%にあたり、高知県の周産期医療の主要病院として当院は大きな役割を担っているといえます。

現在、周産期病棟には23人の助産師が勤務し、日々お母さんと家族、赤ちゃんのために活動をしています。平成19年より助産師外来での妊婦相談・乳房マッサージの実施、平成21年よりマタニティ・ヨガやベビーマッサージを開催しています。

そして今年の6月から「院内助産 ほほえみ」を開設し、助産師による妊婦健診の実施を始めました。「妊婦さんが、主体的に安心して楽しい妊娠期を過ごす事ができる」をその目的としています。完全予約制でハーブティをお出ししてゆっくりお話しし、妊婦さんにあった食事や運動、骨盤ケアについて一緒に考えていきます。内診はありません。徐々に受診希望者も増加し、現在10名が利用中です。初めは不安もありましたが、妊婦さんが笑顔で帰っていかれるのを見るとやりがいを感じます。

これから妊婦健診だけではなく助産師による分娩も出来るよう活動していきたいと思っています。



事務局だより

理事会報告

第1回常務理事会 平成22年7月10日(土)

* 報告事項

当協会外壁雨漏り修繕について行う...予算約160万
了解 工事済み

* 協議事項

- 平成23年度日本看護協会代議員名簿8月末に提出
「予備代議員」の属名を決定
- 第39回医労功労賞候補者推薦について
- 看護こうち108号発刊について
記事のマンネリ化について
(4回/年発刊であるが各号のテーマのマンネリ化)
活字が多く読みづらい。写真やイラストを入れて
楽しく見やすくする
会員に協会事業活動を効果的に情報提供する
今後ページ数を増やすことが費用的にどうか検討
する
- その他
次年度の新規事業について県に要望する事項について
検討
訪問看護支援事業.....訪問看護についてのネット
ワーク化
医療従事者のメンタルヘルスケアについて
発達障害...親子で生き抜く
出前出張講座
看護職の確保事業
以上意見あり、高知県と相談調整する

第2回常務理事会 平成22年8月7日(土)

* 報告事項

平成22年度第2回法人会員会報告

- 地区別法人会の協議事項
 - 公益法人移行に向けての組織整備について
 - 今後の中央ナースセンター事業について
- 看護政策の推進
- その他

* 協議事項

- 看護研究における倫理審査について...倫理委員会の
設置について検討
22年度は看護研究エキスパートに限り、倫理審査員
を選び、審査を行う

- 日本看護協会の運営と要望について...8月19日締切
であるが、9月理事会で決定とする
- 地区別法人会の協議事項
公益法人移行後の組織整備について
 - 組織強化について(案)
 - 法人会員会規程の骨子(案)
 - 職能委員会規程の骨子(案)
 - 都道府県看護協会の公益法人移行に対する
支援(案)
- 子供の健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)
に協力

第4回理事会 平成22年9月4日

* 報告事項

- 平成22年度日本看護協会と都道府県看護協会との合
同防災訓練について
実施日:平成22年9月8日(水)~10日(金)
方 法:日本看護協会・県看護協会間はメールで連絡、
県看護協会と災害支援ナース登録施設間ではfaxでの
連絡方式で模擬訓練を実施予定

* 協議事項

- 地区別法人会員会の協議事項
公益社団法人移行に向けての組織整備について
概ね日本看護協会の方針(案)について賛同するが、
看護職能委員会の領域の考え方について要検討。
ナースセンター事業に関して
平成24年3月末でパソコンによるデータ管理
(NCCS)終了予定。それに伴う影響などを検討。
- 研修責任者研修事業の受託について(高知県より)
高知県看護協会研修責任者研修を実施予定。具体
的な取り組みはプロジェクト委員会を立ち上げ検討。

* その他

- 「看護覚え書」映像制作への協賛(寄附金あり)
- 「第1回 糖尿病治療連携セミナー」への共催
- 「第1回 みんなで緩和ケアを考える会」への共催
- がん制圧月間特集の毎日新聞高知版掲載について
1~4すべてについて承認

事務局だより

災害支援ナース募集



高知県看護協会では災害支援ナースを募集しています。

1. 災害支援ナースの役割

災害時、看護職が不足している施設や避難所・救護所において、直接的支援活動を行います。

2. 「高知県看護協会災害支援ナース」として登録された方々には、

災害看護委員会主催の研修会への参加を呼びかけ、研修会参加費を無料とし、災害時支援者として、活動できるよう知識や実践力を身につける支援をしています。

3. 災害支援ナース証を発行いたします。

災害時の医療救護活動に関する協定（高知県）により派遣依頼があった災害において救護活動を行う場合、この証を持って活動します。

4. 災害支援ナース応募の資格

- (1) 保健師、助産師、看護師、准看護師の資格を有すること。
- (2) 看護協会会員であることは問いません（ただし、非会員の場合、高知県内での活動となります）。
- (3) 災害看護研修（日本看護協会・高知県看護協会で開催）を受講していることが望ましい。

各施設の看護職の皆様 災害支援ナース登録をよろしく
お願いいたします。

詳しくは、高知県看護協会までお問い合わせください。

研修のご案内

平成22年度 実習指導者講習会 公開講座

月日	曜	科	目	時間	講師		
					所属	職名	氏名
11/4	木	カンファレンス指導法		9:30~12:30	龍馬看護ふくし専門学校	専任教員	和泉明子
11/9	火	精神看護学		9:30~12:30	高知女子大学看護学部	准教授	田井雅子
		在宅看護学		13:30~16:30	高知大学教育研究部医療学系看護学部	講師	藤田晶子
11/10	水	母性看護学		9:30~12:30	高知女子大学看護学部	教授	松本鈴子
		家族ケア		13:30~16:30	高知女子大学看護学部	講師	瓜生浩子
11/11	水	看護研究		9:30~16:30	高知女子大学看護学部	教授	池添志乃

平成22年度 在宅療養者と家族を支援する看護師育成基礎研修 公開講座

月日	曜	科	目	時間	講師		
					所属	職名	氏名
10/27	水	在宅における服薬の基本知識と管理方法		9:30~12:30	高知県薬剤師会	薬剤師	川添哲嗣
		在宅療養者の急変時への対応		13:30~16:30	高知女子大学看護学部	助教	小原弘子
11/10	水	認知症にある人の在宅看護（家族看護を含む）		9:30~16:30	リゾートヒルやわらぎ	介護支援専門員	小松加代子
11/17	水	緩和ケア概論		9:30~12:30	高知赤十字病院	がん看護CNS	古郡夏子
		在宅における緩和ケア(実践)		13:30~16:30	函南病院	がん看護CNS	弘末美佐
11/27	土	難病患者とその家族へのケア		14:00~17:00	南国病院	院長	中澤宏之

平成22年度 継続教育

月日	曜	科	目	時間	講師		
					所属	職名	氏名
11/13	土	看護の力で防ごう！ 治そう！ スキントラブル		9:30~12:30	高知医療センター	皮膚・排泄ケア認定看護師	片岡薫
11/20	土	学ぼう！ 今日からできるフットケア		9:30~16:30	高知赤十字病院	糖尿病認定看護師	尾崎みずほ

トピックス

月日	曜	科	目	時間	講師		
					所属	職名	氏名
11/6	土	看護に活かすアロマとマッサージ技術（バスタオル持参）		9:30~16:30	群馬大学医学部保健学科基礎看護学講座講師	日本アロマセラピー学会認定看護師	柳奈津子
12/4	土	見直そう！ 看とりのケア～グリーフケアとエンゼルメイク～		9:30~12:30	高知赤十字病院	緩和ケア認定看護師	松田真智

編集後記

秋の声を聞いてもまだまだ暑さの続く今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。
 この夏は龍馬ブームに沸いたせいか、高知の海に山にことさら県外の観光客の姿が目立ったように思います。有名な観光スポットとは何の関係もない我が家のつい先に観光客の姿があり、後で知るところによると坂本家先祖の墓だった、と県外の方に逆に教わることも多いです。少し涼しくなったこの秋、高知再発見の旅もいいのではないのでしょうか。
 (広報出版委員 岡)